

「日本の戯曲研修セミナー」in 東京 2021 《オンライン版》

事前研修

2022
1/21 金 19:00-21:30 インタロダクション

1/22 土 13:00-15:00 初演の出演者インタビュー

オッペケペを読む!

ゲスト:前田昌明(俳優)

2/1 火 19:00-21:30 第一幕を読む!

2/2 水 19:00-21:30 レクチャー
「川上音二郎の戦争劇について」

ゲスト:日置貴之(演劇研究)

2/3 木 19:00-21:30 第二幕を読む!

2/4 金 休み

2/5 土 13:00-17:00 第三幕を読む!

2/6 日 13:00-17:00 全体ディスカッション

総司会:丸尾聡

担当実行委員:川口典成、黒澤世莉、蔵人、篠本賢一、豊永純子

使用戯曲 『オッペケペ』は劇作家協会が運営する「二十一世紀戯曲文庫」にてオンデマンド本・電子書籍本として購入できます。あるいは各自図書館などで入手してください。

参加要項 ■Zoomに接続可能であること
■セミナー時間に常時接続の状態で行われること
■参加動機を400字以内(戯曲、作家への興味関心など)

定員 ディスカッション:16名、見学:40名

お申し込み〆切 2022年1月10日(月・祝) ※応募人数によって先着順で〆切となる可能性が御座います。

会場 オンライン(Zoom)。入室先は参加者に通知

料金 ディスカッション参加▶5,000円(通し) ※協会員2,000円
見学▶1,000円(通し) ※協会員無料

ゲストプロフィール

前田昌明(まえだまさあき)

1932年7月、甲府に生まれる。現在89歳。1957年劇団新人会入団。『オッペケペ』『袴垂れはどこだ』『魔女伝説』『長い墓標の列』『ワグナー家の女たち』など多くの福田善之作品に出演。他にも『マリアの首』(作演出・田中千禾夫)、千田是也、岩淵達治、石井ふく子など多くの演出家の作品に出演多数。『事件記者』(NHK)などのドラマや映画、また吹替でも活躍。最近の新人会の公演では、『動員挿話』、『女の家族』など演出。

日置貴之(ひおきたかゆき)

明治大学情報コミュニケーション学部准教授。幕末・明治期を中心として日本演劇の研究をしている。新聞や電報、鉄道といった文明開化期の新たな事柄が登場する歌舞伎の「散切物」や、演劇における災害・戦争・病などの表象に関心がある。著書に『変貌する時代のなかの歌舞伎 幕末・明治期歌舞伎史』(笠間書院)など。明治期の戦争劇4作品を翻刻して解説を付した『明治期戦争劇集成』をオンラインで公開中。
<http://hdl.handle.net/10291/21580>

お申し込み

日本の戯曲研修部〈東京〉

チケットシステム「Peatix」からご予約ください。
<https://fukudaoppekepe.peatix.com/>



上記のシステムが利用できない方は、お名前、所属、連絡先(メール、電話)、参加動機(400字以内)を明記の上、以下のメールアドレスまでご応募ください。

✉ gikyokubu.tokyo@gmail.com

福田善之 『オッペケペ』 を読む!



2021年のセミナー風景

「日本の戯曲研修セミナー」とは

2010年「近代戯曲研修セミナー」としてスタートし17回の開催を経て、2018年より「日本の戯曲研修セミナー」に生まれ変わった。日本演出者協会が、演出家が戯曲を読み解き、演出の方法を探るために企画したもので、日本近代戯曲の総括および現代戯曲の研究に野心的に取り組む勉強会でもある。昨年度までに28名の劇作家を取り上げてきた。戯曲に関わる方、戯曲に関心がある方、戯曲の読み解き方を知りたい方、すべての人に開かれた場。

日本の戯曲研修部〈東京〉:

秋葉舞滝子	小林拓生	林英樹
岩崎聡子	坂手洋二	日澤雄介
川口典成	篠本賢一	平野智子
黒川逸朗	外波山文明	松本一步
蔵人	豊永純子	丸尾聡
黒澤世莉	中村孝夫	吉田康一

助成:文化庁委託事業「令和3年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」

主催:文化庁、一般社団法人日本演出者協会

企画・制作・問い合わせ:一般社団法人日本演出者協会



一般社団法人 日本演出者協会

〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-12-30 芸能花伝舎3F

tel:03-5909-3074 fax:03-5909-3075

✉ j_d_a_info@yahoo.co.jp

<https://jda.jp>

宣伝美術:松田陽子